

# FIP開発目標

グローバルな薬学の変革

2020



# 奥付

著作権2020国際薬剤師・薬学連合 (International Pharmaceutical Federation: FIP)

国際薬剤師・薬学連合 (FIP)

Andries Bickerweg 5

2517 JP The Hague

The Netherlands

[www.fip.org](http://www.fip.org)

無断転載を禁じます。この出版物の一部または全部を、出典の引用なしに、電子的、機械的、記録的またはその他のいかなる形式または手段によっても、検索システムに保存したり転写することを禁じます。

FIPは、本報告書のデータおよび情報を利用したことにより発生したいかなる損害についても、一切の責任を負いません。

このレポートに示されているデータと情報の正確性を確保するためにあらゆる手段を講じています。

デザインとレイアウト:

YUPLDN

推奨される引用方法

International Pharmaceutical Federation (FIP). The FIP Development Goals: Transforming global pharmacy. The Hague: International Pharmaceutical Federation; 2020.

# 目次

序文.....	4
謝辞.....	5
パート1: FIP開発目標について.....	6
1.1 推進要因と責務.....	6
1.1.1 「One FIP」の目標を達成するための世界的要請.....	6
1.1.2 人材育成目標からFIP開発目標への道のり.....	7
1.2 方法と構成要素.....	9
1.2.1 開発アプローチと立ち上げ.....	9
1.2.2 構造と構成要素.....	9
1.2.3 人材育成の基本要素と薬学教育.....	10
パート2: FIP 開発目標.....	11
FIP開発目標1: 教育能力.....	12
FIP開発目標2: 初期キャリア研修戦略.....	14
FIP開発目標3: 質保証.....	16
FIP開発目標4: 高度な専門職の育成.....	18
FIP開発目標5: コンピテンシー開発.....	20
FIP開発目標6: リーダーシップ開発.....	22
FIP開発目標7: 統合サービスの推進.....	24
FIP開発目標8: 他者との協力.....	26
FIP開発目標9: 継続的専門能力開発戦略.....	28
FIP開発目標10: 公平性と平等.....	30
FIP開発目標11: 影響とアウトカム.....	32
FIP開発目標12: 薬学のインテリジェンス(注: 知能・知性や重要な事項に属する情報).....	34
FIP開発目標13: 政策開発.....	36
FIP開発目標14: 医薬品の専門知識.....	38
FIP開発目標15: 人中心のケア.....	40
FIP開発目標16: 感染性疾患.....	42
FIP開発目標17: 抗菌薬適正使用支援.....	44
FIP開発目標18: 医薬品、医療機器、サービスへのアクセス.....	46
FIP開発目標19: 患者の安全.....	48
FIP開発目標20: デジタルヘルス.....	50
FIP開発目標21: 薬学の持続可能性.....	52
パート3: 実行と変革.....	54
3.1 FIP 開発目標を使用した薬学の変革.....	54
3.2 優先順位を付けた会員のサポート.....	54

## 序文

2018年の秋にONE-FIPの取り組みの相互関係がより鮮明になり、FIPの戦略と責務が合意されたため、国際薬剤師・薬学連合（International Pharmaceutical Federation: FIP）はアスタナ宣言を支持し、プライマリーヘルスケアを世界的に提供し、ユニバーサル・ヘルス・カバレッジ（注：UHC、UHCとは「すべての人が、適切な健康増進、予防、治療、機能回復に関するサービスを、支払い可能な費用で受けられる」こと）の進行を確実にするためには薬学の役割が不可欠であることを公然と宣言しました。

今後10年間でこれらの目標を達成するためのFIPにおける新たな重点です。

1. FIPメンバー（組織、科学団体、学術機関、個人）がユニバーサル・ヘルス・カバレッジにおける役割を達成するために、その可能性を広げ、力を与えるためにサポートする必要性
2. 国や地域を超えて、あらゆるレベルの薬学の人材育成に関連する優先事項を特定する必要性。
3. これらの大志を実現するためには、今後10年間の目標を明確にする必要性。
4. 進展をサポートし、組織間の架け橋となり、学習とベストプラクティス（注：最も効率のよい技法、手法、プロセス、活動など）の共有を可能にし、データとエビデンスを通じて進捗状況を評価する必要性。

したがって、FIP開発目標の策定は、FIP Global Pharmaceutical Observatory やFIP Atlasを通じたエビデンスの生成、収集、表示と並んで、FIPプロバイダー・モデル（注：FIPによりサービスや教育・トレーニングの提供を行うモデル）が、国内、地域、世界的な発展を共有し、サポートするために、メンバーとパートナーの間の架け橋となる。

FIPの開発目標に基づき、FIP薬学の人材育成目標（Pharmaceutical Workforce Development Goals: PWDGs）をベースにした広範な開発プロセスにより、体系的に統合されたフレームワークは、薬学の実務、薬学研究および人材育成と薬学教育のニーズに基づいた変革を推進することを確認なものにする。

FIP開発目標により、FIPは、世界中のメンバーとの協力と共同して活動することで世界の薬学全体を変革していきます。



Dominique Jordan  
FIP 会長



Catherine Duggan  
FIP 最高経責任者

## 謝辞

FIPは、Board of Pharmaceutical Practice(BPP) 、Board of Pharmaceutical Science(BPS) 、およびFIP Education (FIPEd) の委員長や実行委員 (Excoメンバー) から受けた全面的なサポート; 同じようにFIPの実行委員会、FIP事務局、FIP評議会から受けたサポートに感謝します。

FIP also wishes to thank the following groups for their valuable contribution to the development and delivery of the FIP Development Goals:

### FIP開発目標コアプロジェクトチーム

プロジェクトチェア兼エグゼクティブスポンサー：  
Catherine Duggan, FIP最高経責任者 (オランダ)

#### チームメンバー：

**Emma Paulino**, FIP Professional Secretary (ポルトガル)

**Giovanni Pauletti**, FIP Scientific Secretary (米国)

**Ian Bates**, Director of the FIP Workforce Development Hub, UCL-FIP Collaborating Centre, University College London, School of Pharmacy (イギリス)

**Diala Koudmani**, PhD Candidate, UCL-FIP Collaborating Centre, University College London, School of Pharmacy (イギリス)

**Christopher John**, FIP Lead for Data and Intelligence (イギリス)

**Gonçalo Sousa Pinto**, FIP Lead for Practice Development and Transformation (スペイン)

**Nilhan Uzman**, FIP Lead for Education Policy and Implementation (オランダ)

#### プロジェクトマネージャー：

FIP 開発目標のプログラムリード

**Lina R. Bader**, FIP Lead for Workforce Transformation and Development (オランダ)

FIP開発目標の科学要素のリード

**Zuzana Kusynová**, FIP Lead for Policy, Practice and Compliance (オランダ)

### FIP開発目標内部リファレンスグループ

#### FIP教育 (FIPEd) メンバー：

FIPEdの暫定委員長: **Ralph Altieri**

FIP Workforce Development Hub (WDH): **Marwan Akel; Mariet Eksteen; Barbel Holbein**

Academic Institutional Membership (AIM): **Lilian Azzopardi**

Academic Pharmacy Section (AcPS) – also a BPP Section: **John Pieper; Naoko Arakawa**

#### FIP Board of Pharmaceutical Practice (BPP) メンバー：

BPP 議長: **Paul Sinclair**

軍事および緊急薬学部門 (MEPS) : **Jane Dawson**

病院薬局部門 (HPS): **Ryan Forrey**

地域薬局部門 (CPS): **Manjiri Gharat**

社会管理薬学部門 (SAPS): **Tara Hehir**

産業薬局部門 (IPS): **Sini Eskola; Ulf Janzon**

健康と医薬品情報部門 (HaMIS): **Boyan Todorov**

#### FIP薬学研究理事会 (BPS) メンバー：

BPS議長: **Tatsuro Irimura**

BPS実行委員会: **Linda Hakes; Marilyn Morris; Shinji Yamashita**

BPS ノミネートメンバー: **Don Mager; Hiroshi Suzuki; Geoff Tucker**

FIP 若手薬剤師グループメンバー: **Sherly Meilianti**

# パート1：FIP開発目標について

## 1.1 推進要因と責務

### 1.1.1 「OneFIP」の目標に対する世界的な責務

FIPの開発目標（DGs）は、世界の薬学全体の主要な取り組みです（図1）これは、2016年11月に中国の南京で開催されたFIP Global Conference on Pharmacy and Pharmaceutical Sciences Educationにおいて発表されたFIP 薬学の人材育成目標（Pharmaceutical Workforce Development Goals：PWDGs）という新しい試みを基礎としています。また、PWDGsは、国連の持続可能な開発目標（SDGs）の基盤となる概念に着想を得て、これに適応することで、薬学の人材育成が広範な世界的要請に沿うようになっています。

概念的には、「目標」は、組織、職能、およびエンドユーザーに対し、明確な優先順位が設定された具体的で達成可能で目的のある業務の範囲を提供します。FIP開発目標の進化は、科学、実務、人材育成の全体にわたって、世界的、地域、およびローカルでの発展を導くために体系的で統合されたフレームワークを表しています。FIP開発目標は、方向性を強制するものではなく、国、地域、および世界の医療のニーズを満たすための体系的な行動の基盤を形成するものです。

FIP開発目標は、会員組織がそれぞれの国の状況に応じて行うニーズ評価と優先順位付けを行うフレームワー

クを提供しています。さらに、優先事項は、各組織において薬学の人材、実務、および薬学研究の進歩と変革をマッピングするための基盤となります。FIPは、プログラムを強制するのではなく、各組織のニーズや優先事項をサポートするという意味です。

専門職全体に対して明確で協力的で体系的かつ統合された世界的なフレームワークを持つことには、多くの利点があります。FIP開発目標（FIP DGs）は、大学や専門職の指導的役割を持つ団体による応用研究と評価（たとえば、教育や専門的実務内容の評価）のためのフレームワークとして使用できます。このフレームワークは、政府機関や資金提供当局による薬学的医療に対する投資や政策の国家的な計画と実施ための基礎にもなり得ます。

さらに、体系的で統合されたフレームワークは、動向を世界的に監視し、ファーマシューティカルケア、教育、応用科学、および国民の健康への影響の進歩を監視するための世界的なダッシュボード（注：人々がいろいろな情報を書き込んで、情報を共有していくシステム）をサポートします。最後に、FIP開発目標（FIP DGs）は、世界的および国内の両方の環境でベストプラクティス（注：最も効率のよい技法、手法、プロセス、実務など）を共有するための基盤であり、世界的な結束、連帯、および協調行動を推進および推奨します。これは今後10年間の課題であり、今後も継続していきます。



### 1.1.2 人材育成目標からFIP開発目標への道のり

FIP開発目標は、FIP 薬学の人材育成目標（PWDGs）の開発や立ち上げで行われた作業に基づいて構築されています。それらは薬学の実務、薬学研究および薬学教育の発展を可能にすることによって国際保健をサポートするというFIPの使命と一致しています。

WHOの「保健人材の世界戦略」ワークフォース2030では、「人材なくして健康なし」に重点を置きました。この声明に基づいて、FIPは人材育成と変革を通して各国および国際保健に関わる課題の解決への道筋を示し、それに対応するための戦略的計画を更新しました。これは現在、薬学研究を通じた実務の変革と革新に拡張されています。

2016年、FIPは、人々の変化するニーズを満たすサービスやイノベーションを提供するために、私たちの職業

に必要な変革のスタート地点に人材をおきました。人材育成と教育のための13のPWDGsが開発されて公開されました。これはWHO地域全体で対象となる変革プログラムの基礎となっています。薬学の人材は、科学、実務、教育など多様な専門分野を持つユニークな専門職です。

「One FIP」としての開発目標を定めることで、FIPのすべての領域にわたる共通点と同時に各領域における固有の特徴を見出すことが可能になります。私たちは、科学、実務、人材育成と教育を1つの変革的なフレームワークにまとめて、次の10年間の開発の目標を明確に設定することが、会員と広い専門職にとって不可欠であると考えています。



図2 FIP薬学の人材育成目標からFIP開発目標への道のり

<sup>1</sup>International Pharmaceutical Federation (FIP). 薬学の人材育成目標 The Hague: International Pharmaceutical Federation; 2016. 以下のURLから利用可能: [https://www.fip.org/www/streamfile.php?filename=fip/PharmacyEducation/2016\\_report/2016-11-Education-workforce-development-goals.pdf](https://www.fip.org/www/streamfile.php?filename=fip/PharmacyEducation/2016_report/2016-11-Education-workforce-development-goals.pdf)

<sup>2</sup>国際連合 (UN). 持続的開発目標2015、以下のURLから利用可能: <http://www.un.org/sustainabledevelopment/sustainabledevelopment-goals/>

<sup>3</sup> 薬学の人材：本文書では、様々な環境（地域社会、病院、研究開発、産業、軍事、規制、学術、その他の部門）で、様々な業務範囲で働く薬学関連の人材（登録薬剤師の実務家、薬学研究者、薬剤テクニシャン、その他の薬学サポート人材、就職前の学生 / 研修生など）全体を指す。

FIP 開発目標(FIP DGs)は、FIPのすべての分野が他の指導的役割の機関との間で協力的な作業ができるように設計されています。この目標は、薬学の人材育成と、薬学的医療の提供、および薬学研究に裏打ちされた私たちが提供する薬学的サービスとを結びつけるための論理的な次のステップとともに世界の薬学を提供するものです。

人材育成と教育に関する既存の目標に加えて、実務と科学に関する新たな目標が策定され、FIP DGsの中核的な要素となっています。FIP 開発目標(FIP DGs)全体には変革のプロセスを促進し、サポートするツールや構造が含まれています。指標は、FIP Global Pharmaceutical Observatoryで収集したデータをもとに、進捗状況を測定・監視するためのものです。

これらのFIP開発目標(FIP DGs)は、明確かつ具体的な取り組みとともに、薬学の実務、薬学研究、薬学の人材育成・薬学教育に関する動向と進捗を監視・測定するための国レベルの測定基準を策定する上で重要な役割を果たします。FIP人材の変革プログラム(FIP Workforce Transformation Programme)のような国家的な変革プログラムは、各国やメンバー組織に合わせたニーズの評価、優先順位付け、アクションプランの実施のための道筋を提供します。

FIPは、薬学の人材なくしてファーマシューティカルケアはありえず、また、科学的基礎なくしてファーマシューティカルケアはありえないと考えています。(図3)。

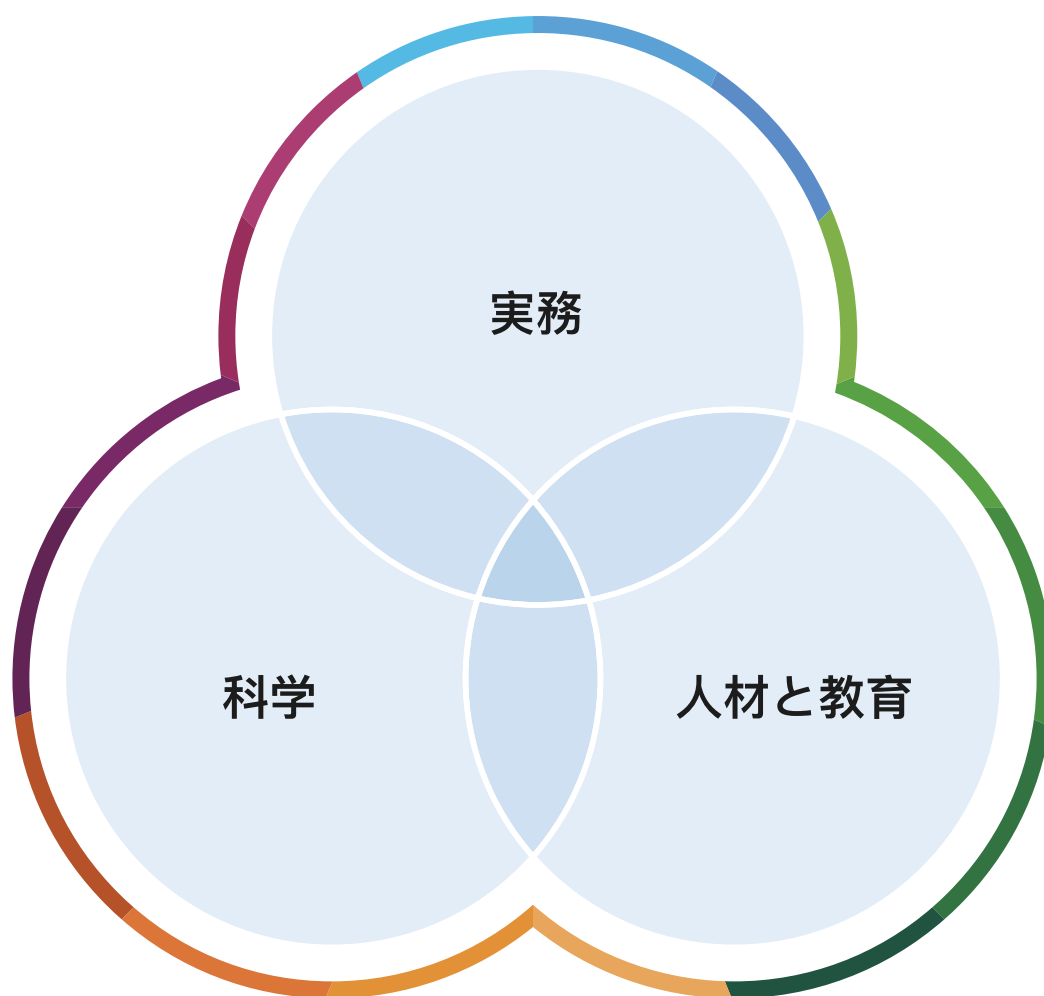


図3 FIPの開発目標は、薬学研究、実務、人材育成と教育を変革することを目的としています。



## 1.2 方法と要素

### 1.2.1 開発アプローチと立ち上げ

2018年秋にONE-FIPの取り組みが明確になり、FIPの戦略と責務が合意されると、私たちはWHOアスタナ宣言を支持し、プライマリーヘルスケアを世界的に提供するためには薬学の役割が不可欠であり、その結果、ユニバーサル・ヘルス・カバレッジの前進を確かな物にすることを公然と宣言しました。

(注：ユニバーサル・ヘルス・カバレッジUHCとは、「全ての人々が適切な予防、治療、リハビリ等の保健医療サービスを、支払い可能な費用で受けられる状態」を指します。) 厚生労働省のホームページより

今後10年間でこれらの目標を達成するためのFIPにおける新たな重点として：

1. FIPがメンバー（組織、科学団体、学術機関、個人）がユニバーサル・ヘルス・カバレッジにおける役割を達成するために、その可能性を広げ、力を与えるためにサポートする必要性
2. 国や地域を超えて、あらゆるレベルの薬学の人材に関連する優先事項を特定する必要性。
3. これらの大志を実現するためには、今後10年間の目標を明確にする必要性。
4. 進展をサポートし、組織間の架け橋となり、学習とベストプラクティス（注：最も効率のよい技法、手法、プロセス、活動など）の共有を可能にし、データとエビデンスを通じて進捗状況を評価する必要性。

したがって、FIP開発目標の策定は、FIP Global Pharmaceutical Observatory やFIP Atlasを通じたエビデンスの生成、収集、掲示と並んで、FIPプロバイダー・モデル（注：FIPによりサービスや教育・トレーニングの提供を行うモデル）が、国内、地域、世界的な発展を共有し、サポートするために、メンバーとパートナーの間の架け橋となります。

PWDGsの開発に使用された方法論に基づいて、2019年1月から2020年8月までの間に新しい目標における実務と科学の要素を発展させるための広範囲にわたる協議プロセスが開始されました。FIPの専門家、メンバー、パートナー、および利害関係者のすべてがこの作業に参加し、目標が適切で、測定可能で、達成可能であることを確認しました。FIPの実務部門（Boards of Pharmaceutical Practice: BPP）および薬学研究部門（Boards of Pharmaceutical Sciences BPS）は、それぞれ実務および科学に関わる要素の開発に関与しました。

開発プロセスには、2019年のFIP評議会との協議も含

みました。評議会は、すべての国の薬学関連団体（会員組織）と各国の薬学研究関連団体（主に科学会員組織）を含むFIPの最高機関です。2020年には、FIP内部準拠グループに目標案へのフィードバックと意見を委託しました。このグループには、FIPの実務と科学部門（BPP, BPS）、FIP教育（FIPEd）、およびFIP若手薬剤師グループの代表者（YPG）が含まれました。

### 1.2.2 構造と要素

この文書全体で述べられているように、既存のPWDGs（薬学研究と実務の要素が埋め込まれるよう構築された）との整合性を維持し、PWDGsの内容が維持されるよう注意深く検討、考慮しつつ重要な科学と実践の要素を拡張する手法を用いています。

1. 実務と科学の要素を発展させ、追加すべき実務と科学の課題に対応するため、21のFIP DGsのセットとして拡張されました。
2. 21のFIP開発目標は、それぞれ世界の薬学を変革するための重点を提供しています。
3. 21のFIP開発目標は、それぞれ必須の人材育成、実務、科学の3つの要素で構成されています。
4. 既存の13のPWDG（2016）の説明と取り組み内容はFIP開発目標1～13の人材育成の要素のとして残っています。
5. 人材育成の要素は、現在はFIP開発目標14-21に含まれるようになり、元のPWDGsを参照および相互参照しています。
6. 人材育成、実務、科学の各要素は、次のように示されています

#### 人材育成 [w]

薬学の人材育成と教育のため

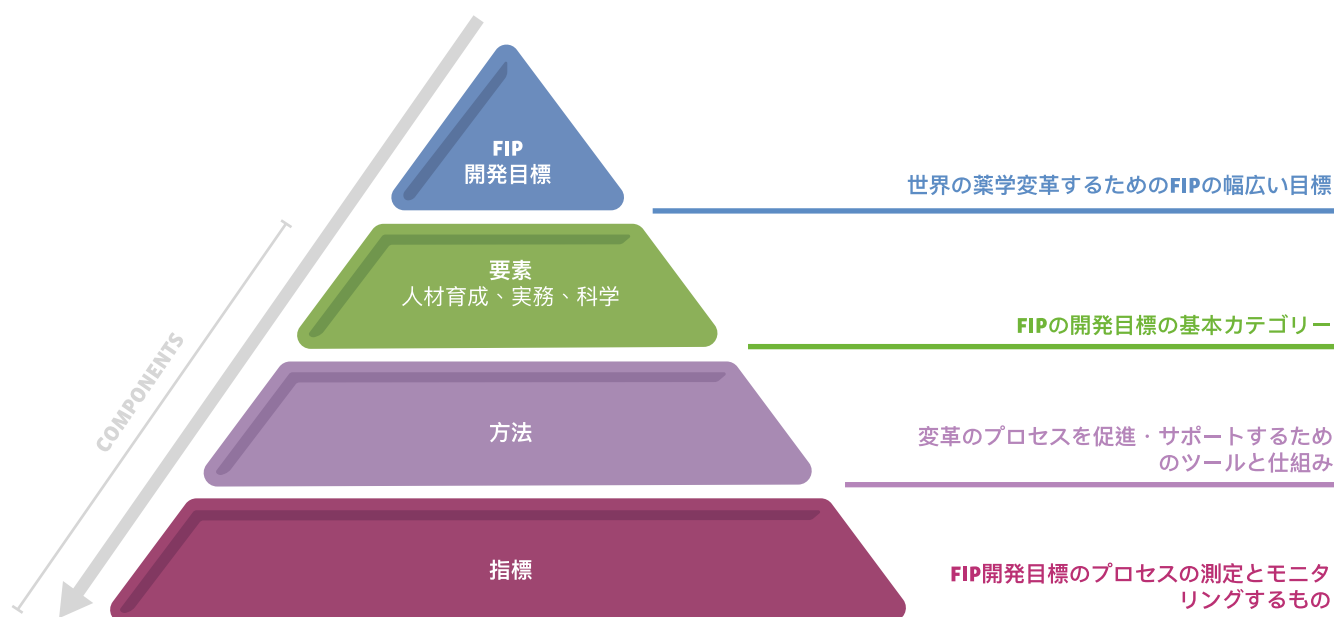
#### 実務 [p]

薬学実務のため

#### 科学 [s]

薬学研究のため

図4は、FIPの開発目標の構造と構成要素、および各構成要素の目的を示したものです。



### 1.2.3 人材育成要素と薬学教育

教育無くして人材育成はありえない。南京会議をうけて、FIPは人材育成の観点から薬学と薬学教育の教育を変革するための包括的なロードマップを作成しました。このロードマップには、「Global Vision for Education and Workforce: 教育と人材の世界的視点」、「FIP Nanjing Statements FIP南京声明」、「FIP PWDGs: FIPのPWDGs」が含まれています。FIPのPWDGsではすべての目標に教育が含まれており、具体的な目標では、適切で時期を得た質の高い薬学教育の提供を目指しています。

2016年のFIP南京会議においてFIP薬学の人材育成目標(PWDGs)が採択されて以来、薬学教育が目標(DGs)の人材育成要素として組み込まれていることを明確にすることが重要です。それ以来、FIPでは「人材育成」は初期教育と継続教育の両方を含む包括的な用語として用いられてきており、大学院での能力開発に重点とした他の要素（リーダーシップ開発、人材育成のためのインテリジェンス(注：知能・知性や重要な事項に属する情報)情報、高度な実務、専門職間の協力など多くの内容)も含まれています。

FIP開発目標の人材育成の要素の中には、FIP開発目標1（教育能力）、FIP開発目標3（品質保証）、FIP開発目標9（継続的専門能力開発戦略）の要素のように、他の要素よりも教育により関連しているものがあります。これらの目標やその他の目標は、薬学教育機関や教育提供機関の改革をサポートするものです。さらに、初期教育

に関しては、「南京声明」は、開発のための追加のフレームワークを提供しています。

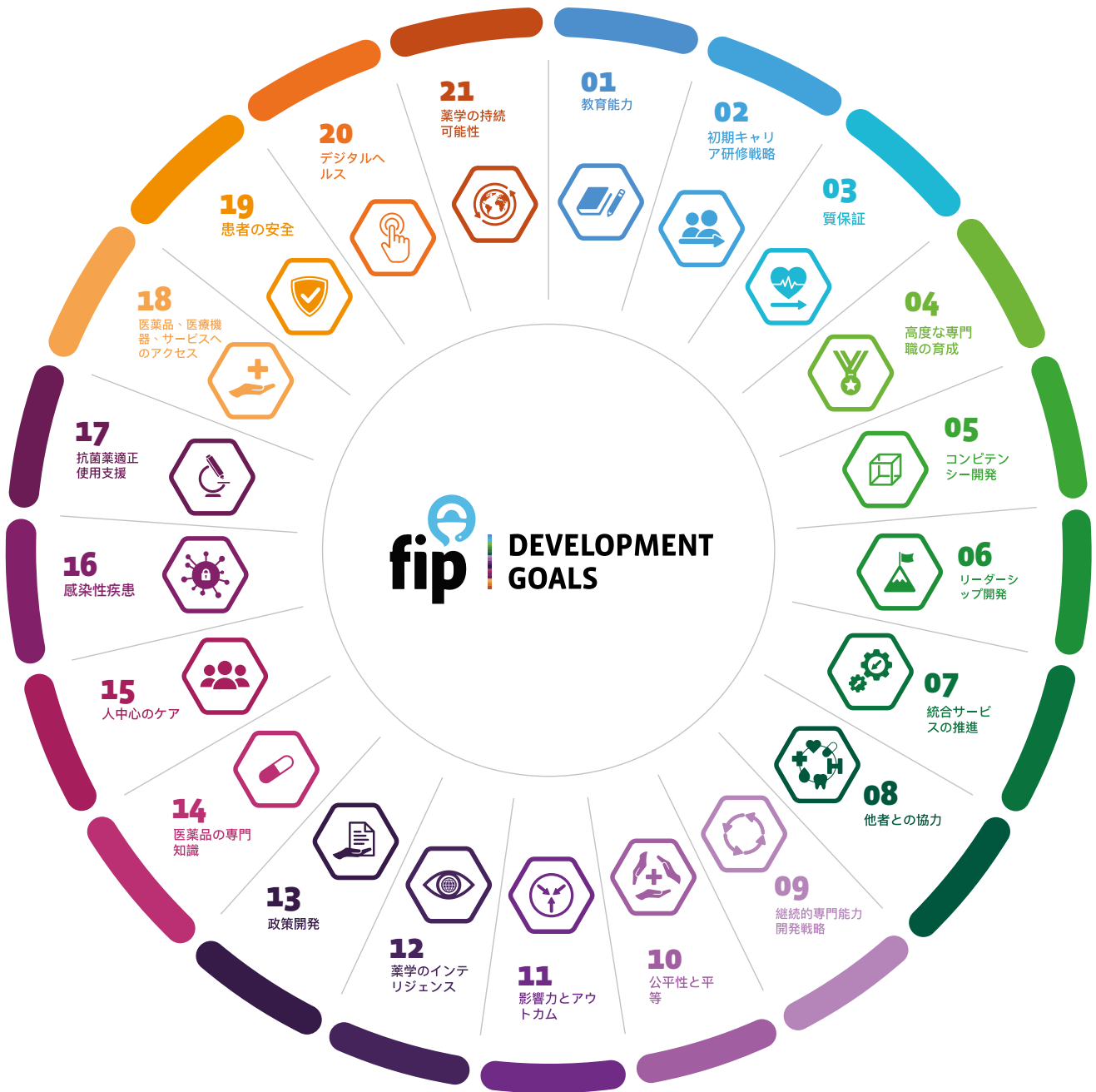
FIP PWDGsに基づいて構築されたFIP開発目標には、人材の要素に関連した教育における変革の取り組みが含まれています。薬科大学、教育機関、教員、学生は、これらの目標を自己評価とモニタリング（国または教育機関レベルで）また、乖離を特定し、戦略的計画、教育プロセスを改善するだけでなく、政策立案者と関与と対話に役立てることができます。

さらに、教育はすべての変革的政策の構成要素として機能することを強調しておきます。教育を通じて、人材、実務、科学の各要素において測定可能な成果を実現することができます。このような観点から、どのFIPの開発目標を見ても、すべての項目に教育が含まれていることがすぐにわかります。つまり、すべての開発目標において、教育という概念は不可欠なものであり、FIPの開発目標を実現するためには不可欠な要素なのです。

<sup>4</sup> International Pharmaceutical Federation (FIP). Pharmaceutical Workforce Development Goals. The Hague: International Pharmaceutical Federation; 2016. Available here: [https://www.fip.org/www/streamfile.php?filename=fip/PharmacyEducation/2016\\_report/2016-11-Education-workforce-development-goals.pdf](https://www.fip.org/www/streamfile.php?filename=fip/PharmacyEducation/2016_report/2016-11-Education-workforce-development-goals.pdf)

<sup>5</sup> International Pharmaceutical Federation (FIP). Nanjing Statements: Statements on pharmacy and pharmaceutical sciences education. The Hague: International Pharmaceutical Federation; 2017. Available here: <https://www.fip.org/files/content/priority-areas/workforce/nanjing-statements.pdf>

# パート2：FIP開発目標



# FIP開発目標1：教育能力



## FIP DG 1 ELEMENTS

世界的な視点から、私たちは...



## FIP開発目標1 [w]

薬学における高等教育開発政策への関与と、供給する側の人材育成をサポートするために薬剤師実務および薬学研究などすべての分野のリーダーに容易にアクセスできるようにする。

## 方法

- 国の医療資源のニーズ（すべての階層の臨床実務、薬学研究分野、利害関係者から）に応じて、目的に適した初期教育および研修プログラムを開発することにより、有能な薬学の人材を提供する能力を高める。
- 若い薬剤師を薬学のあらゆる分野に惹きつけるための新しく革新的な方法を開発する（たとえば、若い薬剤師に、プリセプターや指導者として臨床に関わる大学教員、製薬企業、レギュラトリーサイエンス、放射薬学および獣医のための薬学などの分野でのキャリアを検討するように促す）
- 能力開発には、すべての学生が質の高い教育を受けられるように、施設、教育者、学生サポートの最低限の国家基準を満たす必要があります。
- 学際的・専門職間の教育を強化し、政府、国内外の医療・薬学関連機関、患者擁護団体などの主要な利害関係者との連携を図り、能力開発のための持続可能な解決策を実現する
- 臨床教員の人材育成に対しては、研修、キャリア開発、能力開発により注意を払う必要があります。その中で重要なのは、研究能力の向上も含めなければならないことです。
- 薬学高等教育への投資を支えるデータとエビデンスの活用



### FIP開発目標1 [p]

教育機関と連携した実践的研修と発展させる能力：基礎研修から高度な実践や専門教育までの専門職に進む道筋

- 専門的な研修を含め、実務の進歩をサポートするために、実務家教員と実地での教育の提供者の能力とインフラを発展させる。
- 大学院や高度な教育と研修のためのフレームワーク、基準、構造を開発する。
- 実務において統合された専門職間および学際的な教育および研修の仕組みを構築する。
- 様々な現場での研修プログラムに利用できる頑健な研修パフォーマンス指標を開発し、パフォーマンスの評価とコンピテンスの評価を可能にする。



### FIP 開発目標1 [s]

患者のケア、新しい発見や開発、臨床応用、販売規制、医療用品の経済評価に貢献する薬剤師や薬学研究者のために、質の高い薬学教育・研修を提供するための教育機関の能力。

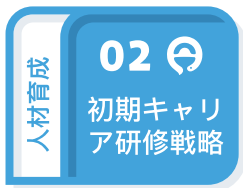
- 学術界のリーダー、専門組織、規制機関、製薬企業との協力により、薬学分野における地域的・世界的なニーズを明確にする。
- 関連する利害関係者との関係を構築し、大学教育の科学的な内容と、薬学および薬学研究における現代の専門的な実務とを最適に調整する。
- カリキュラム内容に学生がアクセスをできるようにするために、世界的な薬学研究の研修機会を一覧にする。

## FIP開発目標2：初期キャリア研修戦略



### FIP DG 2 ELEMENTS

世界的な視点から、私たちは...



### FIP開発目標2 [w]

初期の教育や研修内容を統合し、初心者を高度な実務にむけて前進させるための基盤として、薬学の人材の登録後（ライセンス取得後）数年間の薬学の人材の高度な基礎研修のインフラとの連携を図る。

### 取り組み

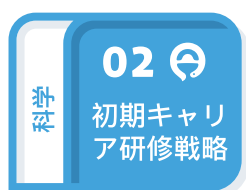
- 登録後（卒業後）の基礎的な研修（臨床実務および薬学研究分野）をサポートするために、明確で目的のある教育および研修経路/プログラムを作成する。
- 初期の実務と高度な実務へ切れ目ない移行をサポートするための初期のキャリアマップとフレームワークを開発する。
- 初心者の実務家が同僚や指導者（薬学の人材全体で臨床実務家および薬学研究者を含む）と関わることをサポートするため初期のキャリアメンタリングシステムの計画されたアプローチを開発する。
- 投資をサポートするためのデータとエビデンスの活用



### FIP開発目標2 [p]

薬局で働くサポートワーカーを含むキャリアの浅い薬学実務家が、高度な実務と専門化のフレームワークおよび専門職であると認識され、認定に向けた道筋を見せる研修戦略とインフラ

- 実践的な初期キャリア研修のための体系的な機会を開発する
- キャリアの浅い実務家にキャリアとメンターシップのサポートを提供する。
- 早期実務と個人的な状況が教育や研修の道筋/プログラムと両立できるよう適切な環境を提供する。
- 実務の拡大に対する適切なインセンティブ、表彰および認定を行う。



### FIP 開発目標2 [s]

基礎科学、トランスレーショナル・サイエンス（注：基礎と臨床をはし渡しする科学）、臨床科学、レギュラトリーサイエンスにおけるスキルを向上させるための卒業生/大学院生、および早期キャリアの薬学研究者の教

- 研修生とキャリアの浅い薬学研究者を、大学、製薬企業、規制機関での経験を持つ資格のあるメンターと結びつけるメンタリングプログラムを開発する。
- 研修生とキャリアの浅い薬学研究者のために人脈作りと専門能力開発の機会を手助けするための専用のディスカッションフォーラムを設立する。

## FIP開発目標3：質保証



### FIP DG 3 ELEMENTS

世界的な視点から、私たちは...

### 取り組み



### FIP開発目標3 [w]

ニーズに基づいた教育および研修システムの質保証のための透明性のある、現代的かつ革新的なプロセス。

- 研修の継続的な開発と十分かつ適切な教育と提供を質保証することにより、人材の質を確保する。質保証は、求められるニーズとコンピテンシーを基本とした教育や研修を提供するために、学問的および制度的インフラに取り組む必要がある。
- 地域のニーズと実務に即して薬学、薬学研究教育の質保証のための標準となる世界的な手引きを定める。
- 薬学と薬学研究の教育や研修の質保証のために公正で効果的かつ透明性のある政策と手続きを実施する。
- 必要な学生の意見を含み、適切な教育と研修、および公正で効果的な政策の策定に関する重要な利害関係者の意見を明確にする。





### FIP開発目標3 [p]

実務のサービスの質評価、監視、改善のための透明性があり、現代的かつ革新的なプロセス。

- 地域、病院、その他で直接患者ケアの役割を果たす薬剤師および薬局サポート人材による実務のための基準を定義する。
- 患者、地域社会、医療制度のニーズに合わせた専門職によるサービスの実施と提供のための基準に基づいた手引き、実務をサポートするツール、および自己評価ツールを開発する。
- 薬学の実務のすべての分野で倫理的な実務を維持するためのシステムを確かなものにする。
- 共同作業、患者の安全、専門的な基準など、質を改善するための仕組みと指標を確立する。
- 薬学的サービスを提供するのに適した人材を育成するための教育、研修、パフォーマンス、専門的能力開発の基準を保証することにより、薬学的サービスの質と有効性を確保する。
- 監査システム、患者からのフィードバック、健康アウトカム研究、費用対効果の測定など、（「現実」に）実用的で有用なエビデンスに基づくサービスの実施、サービスの評価、モニタリングのための仕組みを確立する。



### FIP開発目標3 [s]

安全で効果的な医療用具へのアクセスを国際的に保証するための、薬学研究、開発、製造、および規制における品質と整合性。

- さまざまな薬学研究の重点分野の質保証基準を定めた手引き書のアクセス可能なライブラリを作成する。
- 医療用具の国内規制要件に関する知識を改善するためのツールを開発する。
- 世界的および地域の利害関係者と協力して、規格外や偽造された医療用具を削減することを目的とした仕組みを開発する。

## FIP開発目標4：高度な専門職の育成



### FIP DG 4 ELEMENTS

世界的な視点から、私たちは...

### 取り組み



### FIP開発目標4 [w]

患者ケアの向上と提供できる医療制度の基盤として、薬学の人材の認知度向上のための教育・研修インフラの整備

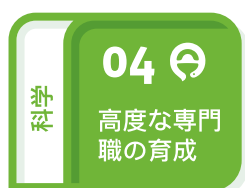
- 実務の範囲、医薬品の責任ある使用という観点において、「専門性」と「高度な実務」が何を意味するのかについての共通の理解が必要である。
- 複雑な薬学的患者ケアのより良い最適化のために、すべての部門（製薬企業および管理環境に及ぶ専門分野を含む）における高度で専門的な薬剤師のコンピテンシーと能力を確かなものにする。これには、実務の範囲内に認められているならば処方する役割も含まれる。
- 高度な薬学研究者を含む薬学人材の進歩と専門性の指標としての認定薬剤師の認証プログラム、体制およびフレームワークを体系的に使用する。



#### FIP開発目標4 [p]

高度で専門的な薬学実務と人を中心としたサービスのため分野別の具体的なコンピテンシーと能力開発のフレームワークとインフラ

- 学会認定、レジデンス研修、継続的専門能力開発、コンピテンシー達成の証明など高度な実務と専門化をサポートするための実務のインフラの整備。
- 患者のニーズに適切に対応し、最適な包括的ケアを確実なものにするために、適切な環境下での高度な実務家と専門職に対する規制要件を確立する。
- 高度なサービスの開発と提供のための道筋と計画を確立する。
- 薬剤師と薬局で働くサポートワーカーが免許の範囲内で実務を遂行できるような仕組みを確かなものにする。
- 高度な能力や専門性を適切に評価し、正式なキャリアアップシステムと適切なインセンティブ（報酬など）との整合性を図る。
- 専門的な研修や認定プログラムのための能力を高める



#### FIP開発目標4 [s]

薬学研究の革新と専門性を育成するための教育、研修およびメンタリング。

- 異なった環境において専門的な薬学研究の専門知識をどのように獲得するかを示した手引きを作成する。
- 特許、フェローシップの地位、獲得した助成金、昇進などで薬学研究の専門性を評価する仕組みを確立する。
- あらゆるレベルの研究者に対して追加のメンタリング、人脈形成、国際的活動、リーダーシップ開発を提供するプログラムを明確にするための産学連携。

## FIP開発目標5： コンピテンシー開発



### FIP DG 5 ELEMENTS

世界的な視点から私たちは...

### 取り組み



### FIP開発目標5 [w]

専門職のキャリアのすべての段階におけるコンピテンシーと実践の範囲を記述した明確で利用しやすい開発フレームワーク。これには、薬学の人材育成のためのリーダーシップ開発フレームワークを含める必要がある。

- あらゆる場面で、地域や国のニーズに応じて、実務の範囲内での薬学研究の変化をサポートするためにエビデンスに基づいた開発フレームワークを使用する。
- コンピテンシーフレームワークなどのツールを使用してすべての環境でのコンピテンシーと行動を記述することで専門的なキャリア開発をサポートする。
- 実務活動を進歩のために、リーダーシップ開発（初期段階から）と達成したコンピテンスを結びつける明確な政策のエビデンス。



### FIP開発目標5 [p]

実務家のための実務において提供される専門的サービスに関連したコンピテンシーを表す明確に定義された開発フレームワーク。

- 医薬品使用のレビュー、アドヒアランスの最適化、調剤、処方、ワクチン接種、または伝染性疾患や非伝染性疾患の管理など、薬剤師実務の範囲内で特定の専門的サービスを提供するために実務家の成長をサポートするエビデンスに基づいたコンピテンシーフレームワークを使用する。
- 薬剤師実務の範囲の中で薬剤師や薬局で働くサポートワーカーによって提供される必須または高度のサービスのリストを定義する。
- 特定の実務の範囲の中でこれらのサービスを提供するために必要なコンピテンシーのリストを定義する。
- 薬学の人材のリーダーシップ、人間性、倫理感を向上させる開発フレームワークを確かなものにする。
- 短期コース、認証、その他の継続的専門能力開発の機会を通じて、サービス主導型のコンピテンシーの開発と研修をサポートする。



### FIP開発目標5 [s]

薬学研究において専門職としてのキャリアのすべての段階のコンピテンシーを記述したフレームワーク

- 大学、産業界、規制機関のニーズに効果的に応えるためにエビデンスに基づいた薬学研究者のコンピテンシーフレームワークを定義する。

## FIP開発目標6：リーダーシップ開発



### FIP DG 6 ELEMENTS

世界的な視点から、私たちは...

### 取り組み



### FIP開発目標6 [w]

薬学研究、初期教育および研修を含む、キャリア開発のすべての段階で専門的なリーダーシップスキル（臨床および経のリーダーシップを含む）を開発するための適切な戦略とプログラム

- キャリア形成を通して薬剤師と薬学研究者をサポートするためのリーダーシップスキルを開発するためのプログラムと戦略（ツールとメンタリングシステムを含む）を作成する。
- 共同作業活動と関連した医療チームにおけるリーダーシップ開発を提唱する。（たとえ、医療サービス提供のためのチームベースのアプローチの促進など）。
- 理想的には、これはコンピテンシーと基礎レベル・初期キャリアの開発活動と連動させるべきである。



### FIP開発目標6 [p]

チーム・共同作業におけるパフォーマンス、地域のニーズに沿ったサービスの開発、責任、説明責任、意思決定者としての責任感、および専門職の自律性を示す臨床的リーダーシップ能力などの要素を組み込んだ専門職としてのリーダーシップのための戦略とプログラム。

- 専門職の自律性と意思決定者としての責任感、患者のアウトカムに対する臨床における責任と説明責任、さらには経済的および環境的影響を保証するリーダーシップ開発を推進する。
- 専門職としてのパフォーマンス（自分自身とチームのパフォーマンス）と医療提供のための共同のアプローチの質保証、およびそれに応じたプロセスの見直しにおけるリーダーシップ能力開発を推進する。
- 臨床的リーダーシップは、質を高め、人を中心とした臨床サービスを優れたものへと変革させる意味があると認識する。
- 薬剤師が、政府、規制当局、政策立案者、その他の利害関係者に対して専門性を効果的に主張し、彼ら自身（薬剤師）がすべての段階で主要な意思決定者となり、影響力を持つ人となるよう、専門性を主張するスキルの開発を推進する。



### FIP開発目標6 [s]

薬学研究、開発、製造、および規制における優秀性を維持するために、科学的リーダーシップのための戦略とプログラム。

- 利用しやすいリーダーシッププログラムや機関と連携し、薬学研究者を対象としたユニークで体系的なFIPリーダーシッププログラムを提供する。
- 大学、産業界、規制機関において経験豊富な薬学研究のリーダーによるメンターシッププログラムを実施する。
- 専門能力開発の機会を拡大するために、薬学研究において質の高いリーダーシッププログラムの一覧を作成する。

## FIP開発目標7：統合サービスの推進



### FIP DG 7 ELEMENTS

世界的な視点から、私たちは...

### 取り組み



### FIP開発目標7 [w]

健康の社会的決定要因と人材育成に対するニーズに基づくアプローチと関連した、人材育成のための患者中心で統合された医療サービスの基盤

- 地域の医療制度、その能力および資金に基づいた教育および研修活動の体系的な展開。
- 薬学の人材育成教育の強化と変革のための体系的な開発方針と戦略、およびトレーナーと教育者の体系的なトレーニングのためのエビデンス
- 教育機関は、エビデンスに基づいた学習法を提供することにより、講師、教師、およびトレーナー自身が能力とコンピテンシーのために適切な研修を受けていることを保証しなければならない。
- 健康の社会的決定要因に関わる行動を通じて薬学の人材と主要な利害関係者が健康の公平性を推進することができるようにする。





### FIP開発目標7 [p]

薬剤師が提供する専門サービスを含む、専門職間や職場間のシームレスな連続性に基づいた人を中心とした統合された医療の提供。

- 実務や医療現場において統合されたニーズベースのサービスを開発し、提供するための明確なプロセスと手順を定義する。
- 一次医療、二次医療、三次医療、緊急・救急医療において、サービスの設計、提供、評価のためのシステムを開発し、実施する。
- 人々を中心とした統合された質の高い医療サービスは、最適化された臨床的、人間的、経済的、そして持続可能な医療の成果のための基礎であることを認識する。
- 健康上のニーズに関連した薬学的サービスの開発と提供を支える患者および人々のニーズを明確に特定する。
- 人道的危機、災害、緊急事態の際に、専門職間の統合サービスを提供する能力を確かなものにする。
- 特にケアの移行や生涯にわたるケアを通して薬局のチーム内および他のメンバーや他の医療従事者との協力体制を確かなものにする。
- 統合された全人的な観点から「個人の旅」を考慮に入れた医療のすべての結果に関する品質測定を実施する。



### FIP開発目標7 [s]

トランスレーショナルリサーチ（注：橋渡し研究：基礎から臨床にはし渡すような研究）やリバーストランスレーショナルリサーチ（注：逆橋渡し研究：臨床から基礎に橋渡しするような研究）を含む、拡張された専

- チームベースの学際的な研究のエビデンスを作成する。
- 薬学的サービスを拡大し、革新的な研究を推進することを目標として、トランスレーショナルおよびリバーストランスレーショナルリサーチを推進するためのフォーラムを設立する。
- 先進的なサービスを評価し、医療システムに付加される価値を文書化するために、薬学研究者と薬剤師の協力関係を促進する。

## FIP開発目標8：他者との協力



### FIP DG 8 ELEMENTS

世界的な視点から、私たちは...

### 取り組み



### FIP 開発目標DG8 [w]

共同作業と専門職間の教育や研修の明確に識別可能な要素とする。これはすべての人材育成プログラムや政策の特徴となるべきである。

- 医療専門職がより良い健康に関する成果を達成するためにどのようにパートナーシップを構築し、関与できるかを示す政策形成のエビデンス。
- 薬学の人材間の協力体制を確保し、他の医療専門職に医薬品に関する研修を提供するための教育およびトレーニング戦略とプログラムを開発する。
- 理想的には、これは正式な専門能力開発活動とリンクする必要がある。



### FIP開発目標8 [p]

専門職間および専門職内の協働と多分野にまたがる医療の明確に識別可能な要素、これは専門職間の境界やケアの移行を超えて活動する相互依存性のあるチームによって提供される。

- すべてのケアレベルで協調して働くために関連するすべての医療専門職からなる学際的な専門職内および専門職間チームの構造とシステムの開発。これには、一次、二次、三次医療の現場で人々を中心とした最適なケアを提供するための薬学的実務が含まれるべきである。
- 適切なコミュニケーションや医療データの共有、共有された意思決定、患者のアウトカムに対する共有された説明責任、medicines reconciliation（注：患者が服用している処方薬と非処方薬の包括的な情報や服薬履歴や管理、アドヒアランス、生活習慣に関する情報を収集すること）や長期的な状態の共同管理などのサービスなどのメカニズムを通じて、医療制度のインターフェースやトランジション（デジタルインターフェースを含む）を越えて、ケアレベルとケアの流れ間の継続性を確保する。
- 薬剤師とサポートワーカーが協働作業や統合ケアの主要な役割を果たすものとなるような政策の開発をサポートする。
- 利害関係者、機関、他の医療専門職団体と協力して、法律の変更や発展を可能にする。
- 患者、正規・非正規の介護者（注：正規の介護者とは介護によって収入が得られる人；例えば看護師、非正規の介護者とは介護の提供によって収入が得られない人；例えば家族）、コミュニティ・ヘルス・ワーカーが、権限移譲、健康リテラシーの向上、考え方の方向性、自身やコミュニティの健康を守る大使（注：大事な役割を果たす人）としてのチームへの参加と連携を通じて、他分野にわたる健康に関する意思決定に確実に関与する。
- 実務の範囲の観点から、自身の専門職としての自律性とリーダーシップ、他の医療専門職と同等の責任と説明責任を認識する。
- コラボレーションによる実践を、ケア提供と能力向上のための質の指標として認識する。
- 実務から科学へ、またはその逆への転向を希望する人材や、関連分野でのキャリアパスの開発を希望する人材を対象に、専門職内および学際的なプログラムを開発・実施する。



### FIP開発目標8 [s]

医療用具へのアクセスを総合的に向上させるための教育、研究、開発、製造、規制を推進するための学際的なコラボレーション。

- 薬学研究者と臨床の実務家が協力する機会を設ける。
- 医療用具の革新、開発、製造、規制に貢献する他の専門分野を統合することにより、薬学教育を拡大する。
- 研修生や初期キャリアの研究者が、異なる分野のメンターと一緒に仕事ができるようにすることで、学際的なコラボレーションを推進する。

## FIP開発目標9：継続的専門能力開発戦略



### FIP DG 9 ELEMENTS

世界的な視点から、私たちは...



### FIP開発目標9 [w]

すべての専門能力開発活動は、ニーズに基づいた健康政策の取り組みや薬学におけるキャリア開発の道筋と明確に関連しています。

### 取り組み

- 国や地域のニーズに応じた、効果的な継続的専門能力開発戦略のエビデンス。
- すべての実務環境において薬剤師のすべてのキャリアの段階で専門性の向上をサポートするプログラムの開発。
- 理想的には、これを人材育成全体で専門能力開発活動とリンクさせるべきです。
- 継続的専門能力開発戦略や自己管理のための行動に関する教育を、学生レベルで開始すべきである。
- キャリアの中断や職域の変更後の実務復帰をサポートするプログラムの開発。



### FIP開発目標9 [p]

キャリア開発経路（キャリアパス）と実務のフレームワークにリンクした、実務とニーズに基づく継続的専門能力開発（CPD）と継続的教育（CE）。

- 免許、登録や高度な実務と専門性（注：専門薬剤師など）の認定を更新するためのCPD要件を策定し、実施する。
- 職場における継続的な教育機会の提供を保証する。
- 薬剤師の専門職としての成長の中に生涯学習があると認識する。
- 認証や資格取得につながる継続的な教育や研修のためのオンラインプログラムを開発する。



### FIP開発目標9 [s]

高度な薬学研究に不可欠な要素として、専門的能力開発を統合する。

- 薬学研究者のための専門的能力開発の優先事項を特定するために、大学、産業界、政府間の協力を推進する。
- 薬学研究者のための専門的能力開発の機会の一覧を作成する。

## FIP開発目標10：公平性と平等



### FIP DG 10 ELEMENTS

世界的な視点から、私たちは...



### FIP開発目標10 [w]

薬学の人材育成、継続的な教育・研修、キャリアアップの機会において、公平性と多様性の不平等に対処するための明確な戦略。

### 取り組み

- すべての薬学の人材育成とキャリア開発の機会において、公平性と多様性の不平等に対処するための戦略を示す。
- 薬学に関連する意思決定にすべての段階において、全般にかつ効果的な参加とリーダーシップの機会均等を確かなものにする。すべての社会的カテゴリー（社会の中の様々なグループ、例えばジェンダー）への参加に対する回避可能な障壁を特定して対処する。
- 公平性と平等性を促進するための人材育成方針と強制力のある法律への関与と採用、偏りのないすべての人の権限移譲のための方針と文化。
- これは、教育能力やリーダーシップ開発の活動にも適用できるはずである。



### FIP開発目標10 [p]

すべての人が質の高いファーマシューティカルケアが利用できるように、薬学的サービスの提供、サービスへのアクセス、サービスへの影響における公平性と多様性のための明確な戦略。

- 多様な社会経済的・人口統計学的なニーズと期待を考慮し、患者、人々、医療制度のニーズに基づいて、ファーマシューティカルケアサービスを開発・提供する。
- 医薬品と医薬品情報、薬学の人材、医薬品の専門知識、疾病予防（予防接種を含む）と公衆衛生サービス、デジタルヘルスサービスを含むサービスへの患者と人々の平等なアクセスに対処するための戦略を策定し、実施する。
- 健康の社会的決定要因を認識し、体の弱い人、脆弱な人、十分なサービスを受けていない人の医療ニーズを効率的に特定する。
- 地域（都市部と農村部など）や医療システム（民間と公共の両方）を問わず、患者や人々が薬局で働く人材にアクセスを確かなものにする。
- 公平性と平等性の問題を理解して特定し、それらに対処するための証拠に基づく方針を策定するために、サービスと人材に関するデータとインテリジェンス（注：知能・知性や重要な事項に属する情報）が利用可能を確かなものにする。
- ニーズの特定と優先順位付けに患者を参加させ、サービスが十分に提供されていない、または利用されていない人々のかわりに提唱する。ファーマシューティカルケアを提供する際に患者によるサービスの受容性を考慮する。
- 価値ある医療を提供する上での社会的説明責任の重要性を認識する。



### FIP開発目標10 [s]

薬学研究のトレーニング、研究インフラ、開発・製造能力、エビデンスに基づく規制監督の世界的な能力における公平性。

- 大学、産業界、規制機関において、薬学系人材を増強するための公平なキャリアパスを提唱する。
- 持続的な公平性と多様性を確保するために、薬学分野全体で実施された戦略の成功を監視する。

## FIP開発目標11：影響力とアウトカム



### FIP DG 11 ELEMENTS

世界的な視点から、私たちは...



### FIP開発目標11 [w]

医療制度や健康増進における薬学の人材育成の影響を示すエビデンス

### 取り組み

- 健康増進と医療成果に対する薬学の人材育成の影響を測定するシステムへの関与。ニーズに基づいた教育・研修・人材育成計画との連携
- 薬学の人材育成のパフォーマンスをモニターするために連続的なデータポイントを収集する。
- 理想的には、この結果を人材インテリジェンス(注：知能・知性や重要な事項に属する情報)を強化する戦略と連動させるべきである。





### FIP開発目標11 [p]

医療のアウトカムや生活の質、医療制度の効率改善、持続可能性の観点から見た、薬学的サービスの影響を示すエビデンス。

- 医療アウトカムと生活の質、医療制度の効率性と回復力の改善、サービスの利用可能性とアクセス性、公平性と平等性、および全体的な持続可能性（経済、組織、環境）の観点から、薬学的サービスの社会的な影響を認識し、評価し、説明責任を果たす。
- 必須なものから高度で専門的な内容まで、すべての専門的なサービスについて、合意された定義や基準、品質やパフォーマンスの指標、実際のアウトカムの指標（一般市民や患者が報告したアウトカムを含む）、その他のデータやサービス評価のインテリジェンス（注：知能・知性や重要な事項に属する情報）に基づいて、サービスの影響や成果を測定・監視するシステムを導入する。
- 実務家主導のエビデンス創出を推進する実務ベースの研究、医療への影響評価、評価の方法を可能可し、推進する。
- 費用対効果分析、費用対効果分析、費用対効用分析、薬剤師の専門サービスの予算への影響など、費用対効果を測定するシステムを実施する。
- 地域、国、国際レベルでの実務の発展、政策、資金調達戦略に役立てるために、薬学的サービスの影響を評価するデータの透明かつ厳密な変換と公開を推進する。



### FIP開発目標11 [s]

安全で、効果的で、手頃な価格の医療用具を必要な時に入手できるようにするための戦略とプログラム

- 新しい医療用具の利点および欠点をモニターし、報告する。
- 提供された薬局実務サービスまたは提供された薬学研究的アウトカムの価値を確立する透明な評価プロセスの使用。
- 革新的な技術を使用して患者のケアを継続的に改善するための科学研究を推進する。
- 薬の発見、開発、利用における持続的な成功を支える薬学研究的貢献を広める。

## FIP開発目標12：薬学のインテリジェンス(注：知能・知性や重要な事項に属する情報)



### FIP DG 12 ELEMENTS

世界的な視点から、私たちは...

### 取り組み



### FIP 開発目標 12 [w]

人材のデータと人材プランニング活動（スキルミックス、高度な専門職の診療、能力）をそろえて共有するための国家的戦略とそれに対応する行動。人材に関するインテリジェンス（注：知性や重要な事項に属する情報）。データがなければ、戦略的な人材育成はできない。

- “global pharmaceutical observatory”の運用
- 薬学の人材の配置と供給に関する意思決定を可能にするために、人材育成の動向を特定するモニタリングシステムを開発すること、これらの活動にはしばしばタイムラグがあることに留意すること。
- 理想的には、専門職のリーダーシップ団体の管理能力やリーダーシップと連動させるべきである。



### FIP 開発目標 12 [p]

エビデンスに基づいた薬学的サービスの発展、政策立案、資金調達の決定を行うために、サービスの提供、開発、提供、ニーズに関する情報を集約、共有、活用するための包括的な国家的戦略。

- 明確な定義、要件、基準を含む専門職によるサービス提供のための合意されたフレームワークを開発し、それに基づいてサービス提供を評価し、専門職によるインテリジェンス(注：知能・知性や重要な事項に属する情報)を生成することが可能になる。
- 国レベルで、すべての管轄区域と人口を対象に、サービスの提供と利用可能性に関するデータを照合し、エビデンスを収集・処理するシステムを開発・導入する。
- 国レベルで、サービスインテリジェンス(注：知能・知性や重要な事項に属する情報)のための一連の最低限の指標と評価基準を定義して認識する。
- サービス提供、人材、科学情報のための統合データベースを開発する。地域、国、国際レベルで、利害関係者、協働者、その他の専門職とサービスインテリジェンス(注：知能・知性や重要な事項に属する情報)を厳密かつそのままに変換、共有するためのメカニズムを開発する。
- 実務や科学で生成されたビッグデータを活用し、ホライゾン・スキニング(注：将来、大きなインパクトをもたらす可能性のある兆候をいち早く見出す活動)、動向の評価、予測(人口動態の変化、健康ニーズの動向、パンデミックやその他の緊急事態など)を行う能力を開発する。



### FIP 開発目標 12 [s]

個々の患者さんの臨床的利益を最大化するために、医薬品の研究、開発、製造、医療用具の市場承認を加速するためのデータに基づく意思決定戦略。

- 情報共有やコラボレーションの強化のために仮想ハブへのアクセスを可能にする。
- 薬学研究インテリジェンス(注：知能・知性や重要な事項に属する情報)を生み出す手段として薬学研究のあらゆる側面を加速させるデータや情報を取りまとめる「オープンサイエンス」として推進する。

## FIP開発目標13：政策開発



### FIP DG 13 ELEMENTS

世界的な視点から、私たちは...

### 取り組み



### FIP 開発目標 13 [w]

専門職のキャリアライフサイクル全体を通して、薬学の人材のニーズに基づいた包括的な開発を実行するための明確で管理しやすい戦略。

- すべての環境や段階において、専門能力開発のための全体的なニーズに応じた健全な政策と施行可能な法律を採用し、強化する。
- 薬学研究と専門職サービスがこの活動の原動力となるような戦略を展開する。
- 職場における薬学の人材の福祉、福利厚生、安全性に関する方針を含む戦略。



### FIP 開発目標 13 [p]

薬学主導で、ニーズとエビデンスに基づいたサービスの実施、統合、報酬に関する政策を策定し、実施するための明確な戦略を、より広範な国の健康政策や優先事項と連携させる。

- 患者や社会のニーズに応え、それに応じて薬学の実務範囲を拡大するような、適切な法規制改革による政策や規制を策定し、実施する。
- すべての管轄区域において、薬学実務をサポート・形成し、サービスの実施、統合、報酬のための適切なフレームワークを提供するために、政策手段や規制を利用する。
- 専門職内および専門職間のコラボレーション統合ケア提供を奨励および奨励するための政策と取り組みを開発する。
- 政策の有効性、妥当性、実施、取り込みを測定する政策評価システムを導入する。
- 緊急時や不測の事態に備えた行動計画を策定し、緊急事態における実務の範囲を拡大する。



### FIP 開発目標 13 [s]

国の医療用具に対する研究の優先順位、知的財産権の保護、ライセンス、価格決定を推進する、ニーズベースの医薬品に関連した政策を実施するための戦略を定義する。

- 規制の世界的基準の開発に貢献する。
- 医薬品・医療用具の開発と評価につながる科学的根拠に基づく政策をサポートする。

## FIP開発目標14：医薬品の専門知識



### FIP DG 14 ELEMENTS

世界的な視点から、私たちは...



### FIP 開発目標 14 [w]

質の高い医薬品の専門知識を提供できる人材を準備・育成するための戦略と取り組み。

### 取り組み

- 初期教育において、医薬品の専門知識を高めるための教育・訓練を行うための教育能力（FIP開発目標1[w]）を確かなものにする。
- 初期キャリアの研修戦略（FIP開発目標2[w]）と継続的専門能力開発戦略（FIP開発目標9）の中に専門的な情報やアドバイスを提供するスキルを組み込む。
- 人材育成のための高度あるいは専門家として医薬品の専門知識を深めるために、高度かつ専門家育成システムやフレームワーク（FIP開発目標4[w]）を活用し、さらに、リーダーシップ開発プログラム（FIP開発目標6[w]）の中に組み込む。
- 薬学のための能力開発フレームワーク（FIP開発目標5[w]）に、医薬品の専門知識に関するコンピテンシーとスキルを組み込む。



### FIP 開発目標 14 [p]

患者、正規・非正規の介護者（注：正規の介護者とは介護によって収入が得られる人；例えば看護師、非正規の介護者とは介護の提供によって収入が得られない人；例えば家族）、医療従事者、関連機関および利害関係者への薬学の専門家の情報とアドバイス提供に関する戦略および取り組み

- 医薬品・医療機器に関する専門知識とアドバイスを、患者、正規・非正規の介護者（注：正規の介護者とは介護によって収入が得られる人；例えば看護師、非正規の介護者とは介護の提供によって収入が得られない人；例えば家族）、医療従事者、関連機関および利害関係者に提供し、政策立案、臨床的意思決定、処方の実務、個人への医療の選択肢、その他の医薬品・医療機器に関する意思決定に役立てる。
- より良いケアとセルフケアのためのヘルスリテラシーを高めることで、患者、正規・非正規の介護者（注：正規の介護者とは介護によって収入が得られる人；例えば看護師、非正規の介護者とは介護の提供によって収入が得られない人；例えば家族）、そして地域の人に力を与える。
- 文化的・言語的要因やその他の特定のケアの必要性（機能的多様性を持つ人々、移民・難民の人々など）を考慮して質の高い適切な情報を提供するために、適切なコミュニケーションやカウンセリングの方法やスキルを活用する。



### FIP 開発目標 13 [s]

医薬品に関する科学的根拠に基づく情報提供を奨励する。

- 医薬品の専門知識を結集し、責任ある医薬品の使用を推進する。
- 医薬品の使用を見直し、最適化するための価値の高いコグニティブ・サービス（注：目的別に用意されたAIモデル）を導入する。

## FIP開発目標15：人中心のケア



### FIP DG 15 ELEMENTS

世界的な視点から、私たちは...

### 取り組み



### FIP 開発目標 15 [w]

人々を中心としたケアの実務をサポートするための薬学教育と人材育成を発展させるための戦略

- 専門職連携教育（IPE）の育成（FIP開発目標8[w]）を含め、初期教育・研修（FIP開発目標1[w]）において、人間中心のケアの知識とスキルを発展させるための教育能力のインフラを確かなものにする。
- 初期のキャリア研修（FIP開発目標2[w]）および上級・専門職の開発（FIP開発目標4[w]）の中に戦略の成果として人間中心のケアを組み込む。
- 人を中心としたケアを、教育の質保証の評価と発展（FIP開発目標3[w]）、および人材育成への影響のモニタリング（FIP開発目標11[w]）のための指標として活用する。
- 人を中心としたケアを核とした、人材育成の全ての段階にわたるコンピテンシーフレームワークの開発（FIP開発目標5[w]）





### FIP開発目標15 [p]

心血管疾患、慢性呼吸器疾患（喘息や慢性閉塞性肺疾患、COPDなど）、糖尿病、がん、メンタルヘルス疾患、皮膚疾患などの非感染性疾患（NCDs）や長期疾患（LTCs）の予防、スクリーニング、臨床管理、治療の最適化をサポートするための、専門職間の協力的な戦略と人を中心とした専門的なサービス

- NCDとLTCのための、構造化されたエビデンスに基づく疾病予防（および二次予防）戦略と専門サービスの開発と実施
- さらなる診断やケアを必要とする可能性のある個人を特定するために、ポイントオブケアテスト（注：臨床現場即時検査；小型分析器や迅速診断キットを用いて医療現場で行うリアルタイム検査群）や構造化されたツールやアンケートやその他の評価方法を用いて、コミュニティベースでNCDやLTCのスクリーニングおよびモニタリング、またそれらのリスク要因、症状、臨床症状をするための、構造化されたエビデンスに基づく戦略および専門サービスを開発して実施する。
- 潜在的な患者を他の医療専門職への紹介、また、患者のスクリーニングおよびモニタリングから得られた臨床的知見を医療チームおよびシステム全体で共有するため、すなわち、患者の（電子）医療記録への（相談および入力のための）共有アクセスを介して、共有するための構造化されたシステムおよびプロトコルを開発して実施する。
- 最適な臨床的・生活の質的な成果と資源の利用を確保するために、治療と医薬品使用の最適化のために、構造化されたエビデンスに基づく戦略と専門的なサービスを開発し、実施する。
- 高齢者、機能的多様性を持つ人々、希少疾患患者、貧困層や社会的弱者、み書きのできない患者、移民層、難民など、長期的な条件や特定のニーズを持つ特別な患者層を対象に、構造化されたエビデンスに基づく戦略や専門的なサービスを開発して実施する。



### FIP 開発目標15 [s]

人を中心としたケアの向上のための革新的な個別化アプローチにつながる医療に関連した特性をモニターし理解する能力

- 科学に基づいた医療情報の提供を推進する。
- 関連する最新の科学情報を提供するために利害関係者と協力する。
- 医療のニーズに応える新しい医療用具の開発をサポートする。
- 世界的（世界保健機関）および地域の利害関係者と協力して、認可された医薬品を他の条件に転用するための方法を開発する。

## FIP開発目標16：感染性疾患



### FIP DG 16 ELEMENTS

世界的な視点から、私たちは...

### 取り組み



### FIP 開発目標16 [w]

感染性疾患・媒介性疾患に関する質の高いサービスを提供できる人材を育成するための教育・研修インフラを整備する。

- 上記のような役割を効率的に果たすための適切な教育・研修を、薬学の人材育成のための初期研修（FIP開発目標2）や、大学院や継続的専門能力開発の流れ（FIP開発目標4および9[w]）の一部として確かなものとする。
- 薬学人材の業務範囲に関する規制のフレームワークがこれらのサービスの提供（FIP開発目標5および7[w]）をサポートしている場合は、学部教育やCPDの一環として、予防接種の提供と関連する役割の能力を発展させる。



### FIP 開発目標 16 [p]

感染性疾患・媒介性疾患の予防、監視、管理、治療の最適化のための戦略と人を中心とした専門サービス。

- あらゆる病因物質（ウイルス、細菌、真菌、寄生虫）による媒介性疾患および伝染性疾患に対して、構造化されたエビデンスに基づく疾病予防対策および専門サービスを開発し、実施する。
- 病気やベクターの進行や拡散を防ぐ、または遅らせることを目的とした、総合的な予防健康対策に貢献するための構造やメカニズムを開発し、実施する。
- 薬学の人材（注：薬剤師）によるワクチンの提供をサポートする戦略や政策を実施するために、利害関係者や政策立案者と協力する。
- パンデミック、伝染病、疾病発生時の緊急・救急でのファーマシューティカルケアやサービスへの対応について、明確かつ包括的な戦略を策定し、実施する。
- 性感染症予防の観点からの性の健康に関する教育を含む、伝染病や媒介性疾患について、患者や介護者を適切かつ必要に応じて教育するためのツール、リソース、専門知識を開発し活用する。



### FIP 開発目標 16 [s]

予防と治療のための革新的なアプローチによる感染症の監視と対応能力。

- 疾患の有病率や革新的な治療戦略に関する情報共有を進める。
- 革新的な予防法や治療法を推進するための教育プログラムやツールの一覧を作成し、普及させる。
- 革新的な診断薬、予防薬、治療薬の開発を監視する。

## FIP開発目標17：抗菌薬適正使用支援



### FIP DG 17 ELEMENTS

世界的な視点から、私たちは...

### 取り組み



### FIP 開発目標 17 [w]

抗菌薬適正使用支援に関する質の高いサービスを提供できる薬学の人材（薬剤師）を育成するための戦略とシステム。

- 初期教育（FIP開発目標1[w]）、初期キャリア研修（FIP開発目標2[w]）、継続的専門能力開発（FIP開発目標9[w]）において、人材育成によって必要な知識とスキルを習得できるようにする。
- 抗菌薬適正使用支援サービスの提供に必要な能力を特定し、コンピテンシーフレームワークや上級者・専門職の育成に取り入れる（FIP開発目標4・5[w]）。



### FIP 開発目標 17 [p]

抗菌薬適正使用支援サービスを提供するためのインフラとフレームワークを整備する。

- 抗菌薬の適切な使用を促進し、患者さんのアウトカムを改善し、多剤耐性菌による感染症の拡大を抑える協調プログラムとして、抗菌薬適正使用支援サービスを提供するシステムと構造を開発し、実施する。
- 抗菌薬適正使用支援サービスを改善・最適化するために、データや指標を活用して評価する。
- 抗菌薬の責任ある使用を提唱し、サポートする。



### FIP 開発目標 17 [s]

新しい抗菌薬、新しい抗菌薬の組み合わせ、新しい技術の研究開発を推進し、抗菌薬適正使用支援プログラムの影響を評価する。

- 市中感染、院内感染、畜産・農業における抗菌薬の使用において、抗菌剤耐性を減らす対策を推進する。
- 抗菌薬適正使用支援プログラムの妥当性と影響を示す研究データを報告する。
- バイオインフォマティクスや定量的システム薬理学などの強力な薬学研究的技術の認知度を高め、新たな組み合わせ療法を見出す。

# FIP 開発目標 18 : 医薬品、医療機器、サービスへのアクセス



## FIP DG 18 ELEMENTS

世界的な視点から、私たちは...

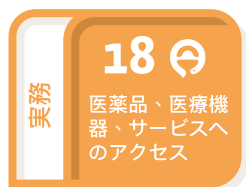
## 取り組み



## FIP 開発目標 18 [w]

迅速かつ有力、利用可能で、十分に配置された薬学の人材を通じて、医薬品やサービスへのアクセスを拡大するための戦略

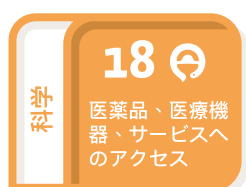
- 人材育成の戦略がニーズに基づいたサービスに沿ったものである（FIP開発目標7[w]）ことを確かなものにする。
- 質の高いケアを提供（FIP開発目標14[w]）するために、人材（薬剤師）に医薬品の専門知識を身につけさせる。
- 人材（薬剤師）のジェンダーと多様性のバランスを、マイノリティグループや特別な患者層へのアクセス（FIP開発目標10 [w]）を改善するなど、サービス提供の最適化に結びつける。
- 人材育成、流通、能力向上（FIP開発目標12 [w]）のための戦略に、人材インテリジェンス(注：知能・知性や重要な事項に属する情報)やデータを活用する。



### FIP 開発目標 18 [p]

適切なサプライチェーン、品質基準、セルフケアと予防サービス、手頃な価格と公正な価格設定の政策を通じて、効果的な医薬品とファーマシューティカルケアサービスへのアクセスを最適化するシステム。

- 医薬品およびその他の医療用品（医療機器を含む）の適切な供給とアクセスを確保するためのシステムおよび構造を開発する。
- 医薬品や医療機器の不足に対する危機管理計画を策定し、実施する。
- 安全で効果的な医薬品や医療機器へのアクセスを確保し、規格外や偽造された医薬品が正規のサプライチェーンに入り込むのを防ぎ、さまざまな環境下での医薬品の安定性を確保するために、その他の安全性や品質の指標に加えて、品質基準やガイドラインを策定し、実施する。
- すべての人、特に弱く、脆弱な人々が公平にアクセスできるようにすることを目的とした医薬品、医療用品、医療機器、サービスの価格の妥当性と公正な価格設定に関する政策や取り組みの開発と実施を提唱して貢献し、さらに特殊で革新的な治療法へのアクセスを確保する。
- 高度な機能を考慮し、適切なファーマシューティカルケアを提供することにより、最適な治療アウトカムへのアクセスを確かなものにし、責任ある最適な医薬品の使用を推進する。
- 一次医療の現場で、より広範な医療チームやシステムと協力して、能力と医薬品の専門知識へのアクセスをよくするためのコンピテンスを向上させるために薬学の人材育成と教育政策を開発し、実施する。



### FIP 開発目標 18 [s]

革新的な科学と情報、新しい/革新的な治療法、新しい薬物送達/製造プロセスへのアクセス

- 利害関係者との協働により、世界の規制プロセスの調和を図る。
- 革新的な医療用具に関する正確な科学的情報の普及を推進する。
- 革新的な医薬品を手頃な価格で入手できるようにするための仕組みを定義する。

## FIP開発目標19：患者の安全



### FIP DG 19 ELEMENTS

世界的な視点から、私たちは...



### FIP 開発目標 19 [w]

患者の安全性の仕組み連動し、実務における薬害削減のための人材育成と教育戦略。

### 取り組み

- 患者安全の仕組みを強化するための教育や研修を行うための教育能力（FIP開発目標1[w]）を確かなものにする
- 初期キャリア研修戦略（FIP開発目標2[w]）および継続的専門能力開発戦略（FIP開発目標9[w]）に、患者安全性および薬害削減のためのスキルを組み込む。
- 人材のための高度で専門領域として患者安全性を確保するために高度で専門家開発システムやフレームワーク（FIP開発目標4[w]）を活用する。さらに、これをリーダーシップ開発プログラム（FIP開発目標6[w]）に組み込む。
- 薬学（薬剤師）のための能力開発フレームワークのコンピテンシーとスキルに、患者の安全と薬害削減を取り入れる（FIP開発目標5[w]）。





### FIP 開発目標 19 [p]

薬害削減につながる患者安全の仕組み、品質保証プロセス、法律と規制

- より安全な医薬品管理システムと医療機関における患者の安全文化の両方を提唱する。
- すべての医療専門職、および患者とその介護者、管理者、政策立案者、教育者を含むその他の主要な利害関係者が、患者の安全性を向上させるために協力してサービスを設計 / 最適化に関して検討することを奨励する。
- 医療専門職、医療に関連した組織、患者・消費者団体、研究者と協力して、実務において患者・消費者の安全性を積極的に測定するための指標やツールを開発・導入・監視し、その成果を安全文化の発展を促進・監視するために利用する。
- 薬の安全な使用と、そのための薬剤師の役割について、一般の人々を教育するための継続的なプログラムを立ち上げ、サポートする。
- 患者の安全に関わる事故を防止し、患者のアウトカムを改善するため、病院、一次医療、コミュニティおよび居住施設でのケア、その他の関連施設における医薬品の安全政策、手順、アウトカムを開発、実施、促進、監視、検討する。
- 医薬品が不足しているときに医薬品を供給し、最も必要としている患者が医薬品を入手するためのシステムを確実に整備する。規格外の医薬品や偽造された医薬品に対応するための戦略を策定する。



### FIP 開発目標 19 [s]

医薬品の開発とその使用における安全性は、医薬品安全性科学の進歩によって進展する。

- 科学的根拠に基づいてリスクを評価し、リスク軽減を判断する、医薬品の安全性監視に関する世界的に整合性のあるアプローチの開発をサポートする。

## FIP開発目標20：デジタルヘルス



### FIP DG 20 ELEMENTS

世界的な視点から、私たちは...



### FIP 開発目標 20 [w]

薬学の人材の中でデジタルトランスフォーメーションを可能にする人、デジタルリテラシーの高い薬学の人材の育成を推進するための効果的なプロセス

### 取り組み

- デジタルリテラシーの高い人材（FIP開発目標1および2[w]）が使えるように、導入教育と初期キャリア研修において、コース、研修教材、体験学習の機会を開発する。
- デジタルヘルスとリテラシーのコンピテンシーとスキルを、医薬品のコンピテンシー、高度かつ専門職のフレームワーク（FIP開発目標4・5[w]）に組み込む。
- 専門職連携教育（FIP開発目標8[w]）を含むデジタルヘルスリテラシーのための学際的な学習戦略。継続的な教育と開発の機会を提供し、デジタルヘルスの変化やイノベーション（FIP開発目標9[w]）に対応した人材を確保する）。
- デジタルヘルス分野での雇用機会など、雇用政策を含む人材育成政策にデジタルヘルス（FIP開発目標13 [w]）を組み込む。



### FIP 開発目標 20 [p]

デジタルリテラシー、テクノロジーとデジタルイネーブラー（注：デジタル技術を使って目的達成を可能にする人、組織、手段）の活用、アクセスと公平性を拡大するための応答性の高いデジタルサービスの構成を通じて、質の高いデジタルヘルスとファーマシューティカルケアのサービスを開発・提供するためのシステムと構造。

- 共有電子記録、アプリケーション、人工知能などのデジタルイネーブラー（注：デジタル技術を使って目的達成を可能にする人、組織、手段）や新技術を活用し、革新的なサービスの提供や適切なケアと意思決定をサポートする。
- デジタルリテラシーを発揮し、データの所有権、倫理、プライバシー、品質情報をめぐるガバナンスの問題点を理解する。健康データの管理者としての人材育成をサポートするための方針を持つ。
- デジタルヘルスは、デジタルファーマシューティカルケアへのアクセスを含め、アクセスと公平性を拡大する取り組みであると認識する。
- デジタル技術の倫理的および運用上の影響、ならびに患者情報や共有電子記録へのアクセス拡大による患者のアウトカムに対する専門職としての説明責任の観点からの影響を特定し、理解する。



### FIP 開発目標 20 [s]

デジタル技術の医療提供への応用と、革新的な医療製品の開発。

- 薬剤師や薬学研究者の研修や教育においてデジタル技術や情報の利用と解釈を推進する。
- 患者のケアを改善するため、「データサイエンス」による解決策の統合を可能にする。

## FIP開発目標21：薬学の持続可能性



### FIP DG 21 ELEMENTS

世界的な視点から、私たちは...

### 取り組み



### FIP 開発目標 21 [w]

持続可能な薬局やサービスを強化するために、人材を活用する戦略とシステム

- 持続可能性（FIP開発目標1[w]）のため薬局実務研究、アウトカム、評価過程を行うための大学での教育能力。
- 人材育成教育・開発のための戦略を必要な統合サービス（FIP開発目標7[w]）と連携させる。
- 継続的なファーマシューティカルケアの提供（FIP開発目標12[w]）を可能にするために、利用可能でアクセス可能な十分な人材を生み出し、訓練するために必要な能力を理解する。
- すべての部門で働く人材を持続可能性の議論に参加させ、人材政策の発展（FIP開発目標13 [w]）と連携させる。



### FIP 開発目標 21 [p]

環境の持続可能性を確保し、医薬品と薬局実務への影響を最小限に抑えるための政策、規制、戦略だけでなく、薬学的サービスに対する適切な報酬モデルを通じて、薬局実務そのものの持続可能性を確保するための適切な取り組み。

- 生態系の持続可能性の観点から、医薬品や医療に関連した実務が環境へ及ぼす影響を認識し、最小限に抑え、軽減するような政策および戦略の開発と実施を提唱し、貢献する。これには、医薬品の研究、開発、製造、マーケティング、流通、調剤、使用、廃棄、医薬品を規制する行政や法律のプロセス、薬局業務のあらゆる側面、そしてこれらの役割を担う薬学の人材の教育や研修が含まれる。
- 薬局サービスの社会的（個人としての）、社会的（集団としての）、経済的な持続可能性の観点から、薬学的サービスへのアクセスの公平性を確保し、その提供にインセンティブを与え、その持続可能性を促進し、公共または民間の医療システムの資金調達に適切に統合されるような薬に関連したサービスの価値を提唱し、貢献する。



### FIP 開発目標 21 [s]

環境への悪影響を抑制しつつ、ライフサイクル（生産から回収再利用までの過程）を通じて医薬品の安定供給を維持するための科学的な戦略と政策。

- 医薬品の影響を環境モニタリングするための戦略について、利害関係者と協力する。
- 医療用品のライフサイクル（生産から回収再利用までの過程）を通して、環境、社会的（個人）、社会的（集団）、経済的な持続可能性を推進する。

## パート3：実行と変革

### 3.1 FIP開発目標を使用した薬学の変革

FIP開発目標パッケージには、具体的（な実行案）と具体的な取り組みとともに、変革のプロセスを促進・サポートするためのFIPグローバルツール、構造、指標、変革プログラムが含まれる。

FIP Global Pharmaceutical Observatoryで収集したデータをもとに、進捗状況を測定・モニタリングするための指標や国レベルの評価基準を策定する。

FIP DGsの目的は、世界的な傾向のモニタリングと世界的なダッシュボード(注：人々がいろいろな情報を書き込んで、情報を共有していくシステム)の開発、世界的なベストプラクティス（注：最も効率のよい技法、手法、プロセス、活動など）の共有と開発を促進し、世界的な結束、連帯、行動をサポートすることである。FIPの人材変革プログラムのような国家的変革プログラムは、各国に合わせたニーズの評価、優先順位付け、アクションプランの実施のための道筋を提供する。

FIP DGsは、ニーズ評価の基礎となる体系的なフレームワークであり、変革計画の基礎となるものである。ま

た、FIP DGsは、大学が加盟団体や薬学・健康に関する指導的役割の団体と協力して研究・評価することを可能にし、国の開発資金のためのフレームワークや、国の政策戦略の計画を可能にする。

### 3.2 優先順位付けで会員をサポート

それぞれの国や会員は、自分たちのニーズを確認し、優先順位をつける。また、FIPでは、One FIPに組織や会員を関与させるためにFIP DGsを利用する。そのためには、FIP内のリーダーシップ要素を最も適切に反映している各目標に対する「主導的要素」を特定することが有効である。図5は、FIP DGsに重み付けをすることで、ニーズに基づいた優先順位付けと、各DGsにおける「主導的要素」の特定をサポートする方法を示している。FIP DGs要素の重み付けするのと同様のアプローチは、会員が優先順位付けのプロセスやプロジェクトをサポートするために使用することができる。このような手法は、私たちの変革プログラムの一部であり、特に会員をサポートするための基本的なニーズ評価の段階で用いられる。

	1   教育能力	2   初期キャリア研修戦略	3   質保証	4   高度な専門職の育成	5   コンピテンシー開発	6   リーダーシップ開発	7   統合サービスの推進
人材育成	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓
実務	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓
科学	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓
	8   他者との協力	9   継続的専門能力開発戦略	10   公平性と平等	11   影響力とアウトカム	12   薬学のインテリジェンス	13   政策開発	14   医薬品の専門知識
人材育成	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓
実務	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓
科学	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓
	15   人中心のケア	16   感染性疾患	17   抗菌薬適正使用支援	18   医薬品、医療機器、サービスへのアクセス	19   患者の安全	20   デジタルヘルス	21   薬学の持続可能性
人材育成	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓
実務	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓
科学	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓

図 5. FIP開発目標の要素に重み付けすることで、優先順位付けのプロセスをサポートできる

**Fédération  
Internationale  
Pharmaceutique**

Andries Bickerweg 5  
2517 JP The Hague  
The Netherlands

-

T +31 (0)70 302 19 70

F +31 (0)70 302 19 99

fip@fip.org

-

[www.fip.org](http://www.fip.org)